

特254

973

濟更生資料第二十二號

昭和十年六月十二日

農林大臣山崎達之輔閣下御視察記念誌

京都府船井郡下和知村

始





特 254  
973

### 卷頭の言

栗花満開にして初夏の六月十二日農林大臣山崎達之輔閣下は、和知驛午前九時三十八分着弊村  
 經濟更生状況を視察せられ破格の光榮に浴せり、當日は本村小學校に於て小職並に各種團體代表  
 者より更生状況を御説明申上た後大臣閣下より我が村民に對し親しく御訓示を拜聽し此の榮譽は  
 我村に於て古今未曾有のこととて村民一同感謝感激に堪へず尙ほ綾部城丹蠶業學校に於て御別  
 の御挨拶申上た際閣下より農村更生の爲めシツカリ頼むの御言葉を拜し尙一層責任の重且つ大  
 ることを痛感すると共に忘れるな六月十二日とし永久に更生紀念日を改め閣下御視察の御趣旨  
 は對し御恩に報ゆる爲め今後一段と實行に拍車を加へ邁進に努力をなし理想郷下和知村建設をな  
 さむことを併て當日從行各位の芳名又は御説明申上た順序及その内容等を録し村民に頒布して參  
 考となし永久に保存せむとす

昭和十年六月十二日

京都府下和知村長 片山 潔





山崎草堂  
月日如心公

密揮の下閣臣大 日二十月六

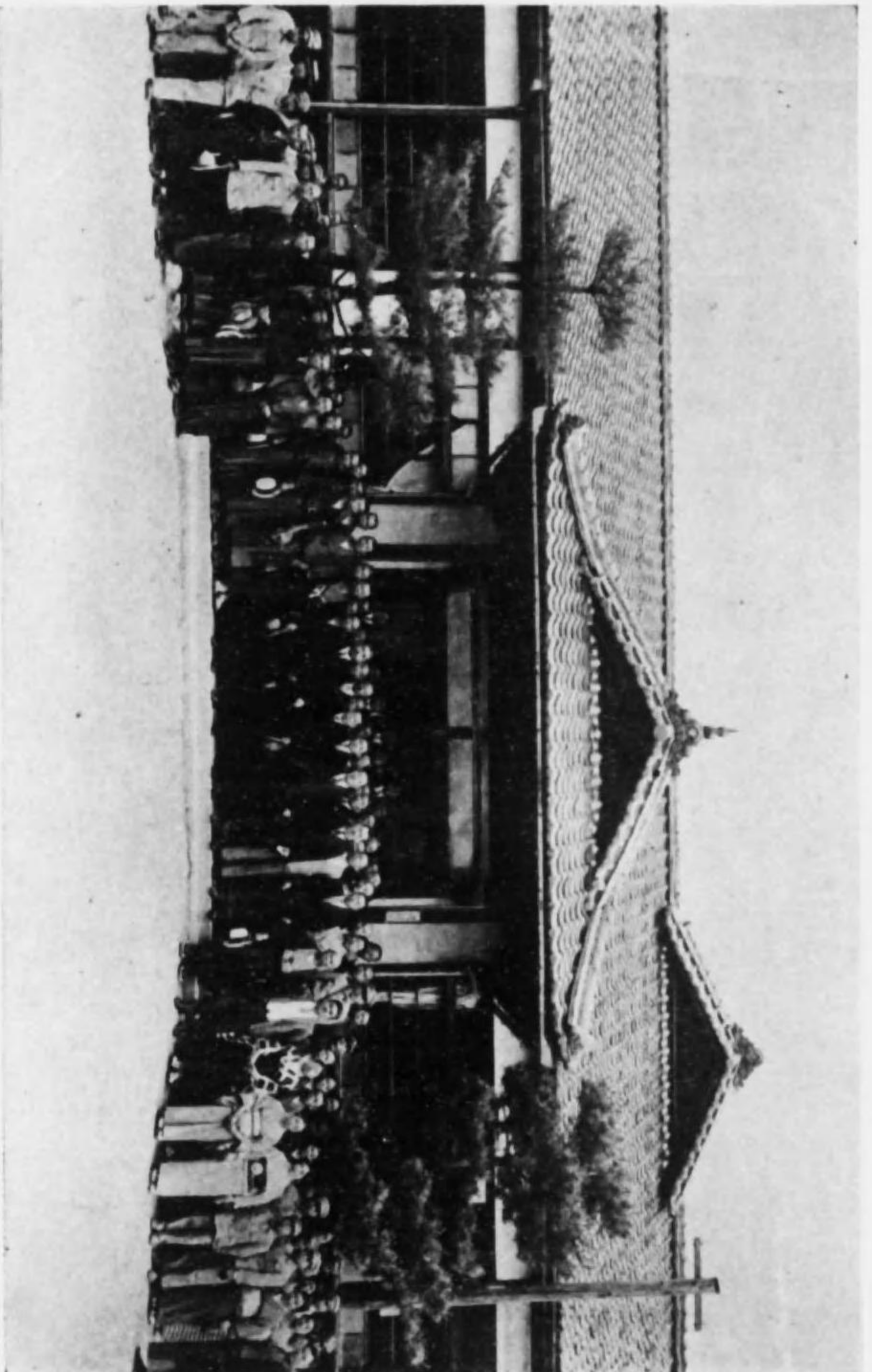


筆法

懶雅

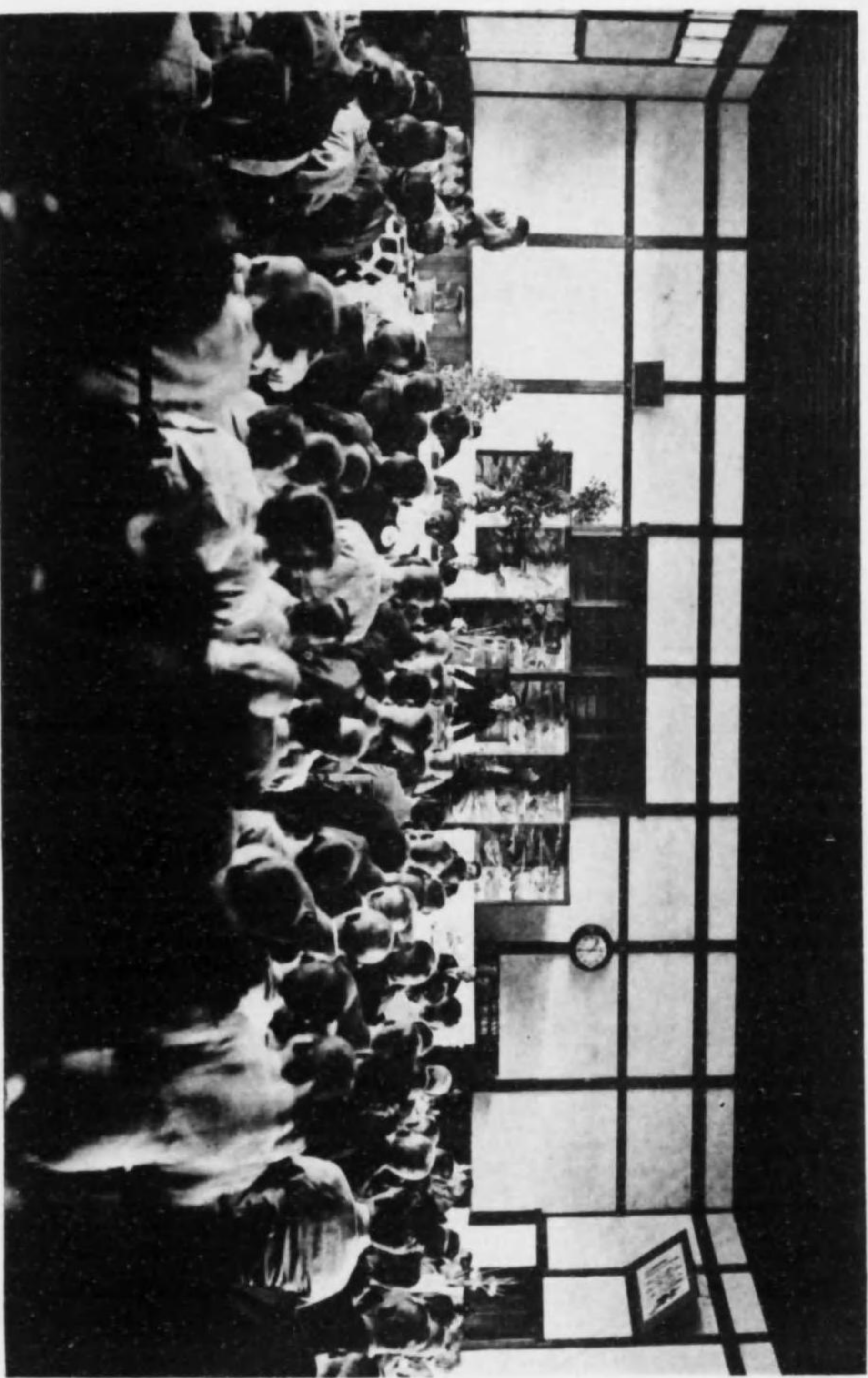
京都府知事閣下題字





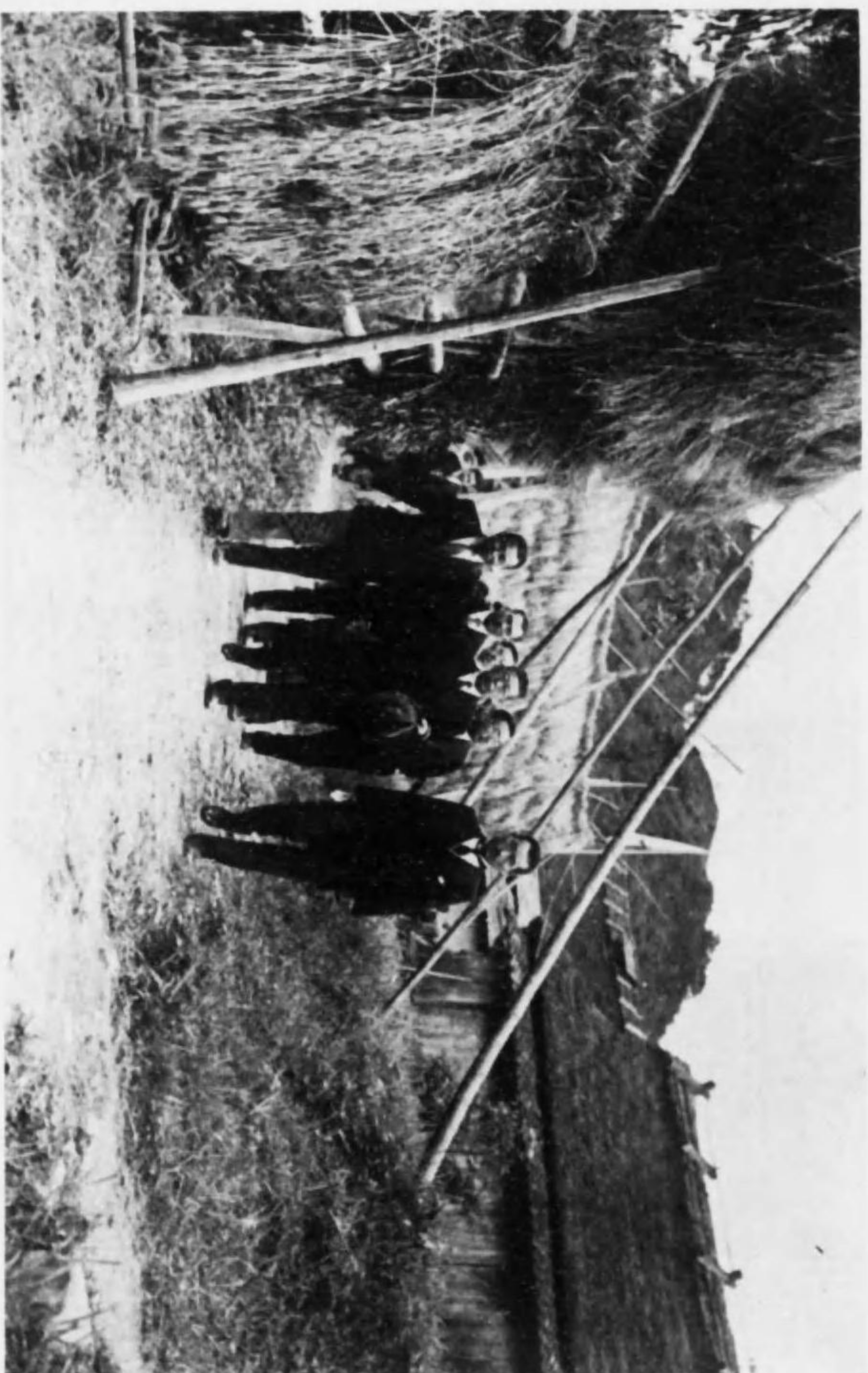
影撮念紀るけ於に門校





示訓の巨大るけ於に場會





下園區大の視巡御







新聞記者關係

秘書課長	小林良雄
地方技師	土居正次
地方農林主事	谷垣貞次
府農會幹事	大島國三郎
地方農林技師	衣川春一郎
森林主事	屋鋪眞住
東京日日新聞	大阪毎日新聞
大阪朝日新聞	東京朝日新聞
其他	

郡農會關係者

郡農會長(府會議員)	竹村正夫
郡養蠶業組合長	谷常太郎
農林技手(郡農會技師)	佐々木徳治
同	同
同(郡養蠶業組合技師)	芦田清治

警察關係者

同	藤田正雄
農林主事補	西島由一
園部警察署長	岸田莊太郎
高等部長	吉田近三郎
外勤部長	大槻藤松
外勤巡查	竹野入國夫
	實宮賢一
	實生

大臣閣下の御訓示要旨

文責在記者

本村の經濟更生の良成績なることはかねて報告に接しよく承知して居つたが本日村長始め各種團體代表の方よりお話を聞き苦心の程も窺はれて一層感を深くした、國の大本は農業にありその經濟更生のためには政府や府縣も充分努力するが農村自身の自覺と努力が何よりも肝腎であるから將來は村長を先頭に各種團體代表者は益々努力を望む







又同じ大正五年に部落有林野を統一し現在百萬本の杉檜を植栽なし毎年一戸二人平均を出夫して其の養育に努め又一面林野開發と利用の爲め林道を開鑿し今後十五年餘を経過するならば植栽林の輪伐を以て村費を償ふ豫定となつて居ります

以上の耕地整理並に林野の統一等には相當なる迂餘曲折もあり中々困難な場合も多かつたのでありますが幸ひ村民一致協力の下に本年度を以て全部終了した譯であります昭七年三月七日地方園部須知兩銀行の破綻に遭遇し約四十萬圓の貯金を失ひたる爲め村内一時は暗黒の状態でありましたが恰も其の年の十一月經濟更生指定村となるや前に述べました事業等に依り村民に與へた和衷協同の精神を奮起し一層拍車をかけて村民一丸となつて茲に更生の一步に踏み出した次第で其の間基本調査として生産、消費、負債、貯金、労働歩合等に依る調査を數回に亘つて行つたのを基礎として村に更生委員會を設け部落に支部を置き十戸を單位として班となし村計劃より部落計劃に進で各戸に計劃を樹立せしめ委員の統制各種團體の連絡協調各個人の熱意との三者を一體となし更生に向つては恰も青草が南風に靡びくが如く一舉一動に邁進縦横に隅から隅迄更生の意氣を徹底せしめたる結果昭和七年の調査による負債高三十一萬圓にして一戸平均三九二圓(事業に依る負債は別)でありましたが本年二月現在の調査に依りますと負債が十九萬三千圓餘で一戸平均二四五圓に減じた譯でありまして是れは全く更生計劃に村民が克く則て移出販賣米による収入と自勞自桑主義による養蠶經營の改善と農林産物販賣統制に依る利益と有畜農業に依る自給肥料増産と生産牛による利益及餘剩勞力分配による効果と水産養殖就中電氣事業により和知鮎たる鮎の上漁を著しく減じたる爲め放流鮎をして増産を圖り収入を大ならしめたのと消費節約によるものより生じたる収入を以て負債の償還に當てたる結果負債額を減じ而已ならず納税成績は尤も良好となり一人たりとも滞納者はなくなつた様な譯でありまして先づ更生の先決と致しまして第一村民に精神作興をなす必要からして村長又は小學校長は各部落に巡回講話をなし或は村時報を毎月發

行して一般に良く計劃及實行方法を周知せしめ村内六ヶ寺院に佛心會を設け毎月一回は必ず村民一同寺院に參拜和尚さんより説教を拜聴終つて思ひくの娛樂と雜誌の内に親子兄弟の様な和氣藹々の中を結付けた次第であります

又昨年十月十八日富民協會より授賞されたるを紀念として毎月十八日は村民一同各神社に參拜敬神の念を高めると共に精神の統一に努力しつゝあります

併て昨年の十二月二十八日村内極貧困者五十名を役場に集め本村の更生方針或は社會の趨勢等を良く説明して糯米を各戸四升づゝ即二石を分配しましたが是は役場吏員十四名が更生に依て節約より生ぜし故から月給の内より集めた金で準備して救與米を施しましたがそれに對して貧困者も非常に喜んで譯であります

又標準農家の基本として「共働の家」を作り農民道場に因だ施設を行つて居ります、尙更生に因て一家を起し今春有難くも高松宮殿下より御沙汰書並に金一封を拜受した片山岩吉氏の名譽を得られたことも此更生の一步かと竊かに喜んで居ます、又次男坊の離郷防止と農家の増加を圖る爲めに開墾地移住奨勵法により十八戸の農家を新に増加せしめ農家の發達に努力して居りますが私は茲に一層大なる計劃を有して居ますことは最一段と農村計劃を樹立して人家の集密と耕地の集團並に農道の開發、山野の開墾により桑園の改植及農作物の轉作等を行ひ農林産物を増加すると共に農村を一層工業化する爲め加工場を設け軍需工業の補ひ迄進めたい考へを持つて居ます

未だ申上たい點も澤山御座います但し計劃書及實行事例に掲げてありますのと各部門に亘りては夫々部長より簡單に御説明申上ることゝなつて居ますから私は是を以まして失禮致しますが我村は漸くにして更生の端緒を開いたのに過ぎないので恰度我々村民は荷車を轆きつゝ大きな峠を一生懸命に越さんとして其の途上にあるのでありますから政府及本府に於かれては是を後より峠の絶頂に達し光明を見る迄充分なる援助をして貰ひたいことを、終りに際し此



度大臣閣下の弊村に御光來は古今未曾有であつて破格の恩典を蒙つた思して我村の光榮は申迄もなく村民は茲に一層緊張して更生の實を擧げ此日を卜して更生紀念日を改めると共に理想郷下和知村を建設して閣下の御來村の御趣旨に對し萬分の一の御恩報じを可致ことを茲に堅く御誓ひして御挨拶と致します

### 昭和十年後に於ける本村計畫樹立の要旨

- 一、人家の集密による家屋の移動に伴ふ新築又は改造戸數三八八戸にして一戸平均七百圓と見積此金二十七萬一千六百圓其他衛生と自給肥料増成の重點よりして筋便所及共同浴場の設置費用二千六百圓
- 一、耕地集團による名義移轉其他費用二千圓と農道、土橋の開墾又は新設延長一萬八千五百米此金三萬七千圓并に溜池の嵩置三ヶ所導水路補強工延長一萬八千五百米を合せた費用三萬八千圓
- 一、山野の開墾をなし桑園、茶畑、果樹栽培の爲め其見積面積百二十町歩此開墾費反當六十五圓として此金七萬八千圓
- 一、農林產物加工場設置費四萬八千圓附隨として製材所及製茶場を含む
- 一、共同作業場二ヶ所此金三千八百圓、農業倉庫一棟此金三千圓、木炭倉庫三棟四千八百八十圓
- 一、林產物收入増加を圖る爲め林道開墾延長一萬三千米此金三萬九千圓
- 一、仔牛共同飼育の爲め放牧採草場七ヶ所設置此費用二千百圓

- 一、生産牛販賣の爲め家畜市場設置費二千圓
  - 一、種牝牛百五十頭及種牡牛一頭購入代金三萬〇五百圓
  - 一、村立病院建設費三萬圓是は村内現住醫師をして通勤醫療をなさしむ
- 計五十九万二千四百八十圓

以上の財源は村民の勤勞奉仕と篤志家の寄附金と低利借入金及國庫又は本府の助成及補助をして昭和十年年度より向五ヶ年計畫を以て完成する豫定とす

### 學校教育方針（更生に因て）

（昭和十年六月十二日）

下和知尋常高等小學校長  
同 青年學校長

出 野 傳 治

本日農林大臣閣下並に多數名士の方々が本村更生狀況御視察の序當校へ御立寄り下さいましたことは職員兒童無上の光榮に存じてゐます次第であります、我下和知村は只今村長より説明のありました通り本村更生に對し舉村一致村當局之が施設經營に寸暇も見出し得ない状態にあるのであります、かゝる校下を背景と致してゐます本村教育も一は教育の本質から致しまして一は本村の現状から致しまして兒童に本村實態を良く知らしむると言ふことに主眼を置き



之に對する施設經營に全力を注いでゐます、しかしながら「眞の教育は體驗を通してのみ其の本質に觸れる」と言ふ信條から致しまして之が最も適當なる年齢を青年學校在學時代なるに思ひ所謂農民道場と致しまして「共働の家」を經營致してゐますのであります、本道場におきましては青少年にして農道を通して農民魂の養成を重視し且は小學校に於て村の實態を悉知致しましたことを基幹とし本村民として如何にすれば更に生活の向上を計り得るか又更生をなし得るかと言ふ點よりして「標準の家」の經營をなし之が體驗による教育に努めてゐます次第であります實狀につきましては後刻御視察を願はれる御豫定と拜承致してゐますので其際主任教諭より御説明申上げること致してゐます要は小學校青年學校を通して本村實態を根底とせる農道の體驗により更生の一路に猛進致してゐますことを御耳に達しました次第であります

### 産業組合に就いて

組合長 片山勘藏

本組合は大正四年に創立致しまして、爾來順調に進展しつゝありましたが、昭和七年三月地方銀行の支拂停止に遭ひ、本組合預金拾七萬餘圓を梗塞するに到り、一時暗黒の状態にありましたが、組合員の理解ある態度により和衷一致、新興刷新計畫を樹て、回復に努めつゝありました所、時あたかも農村更生の叫び熾烈となり、本村亦經濟更生指定村となるに及び、之れが更生計畫の樹立を見ましたので、本組合も之れに順應せる計畫を以て努力致しつゝありますが

昭和七年以來信用部にては貯金の増加六萬圓を越ゆるの成績を示し、貸付金に於ては大差なきも負債整理の實は相當にあり、現在畜牛資金、製炭資金が其の過半を占めて居ります。購買部に於ては肥料、飼料、日用品、雜貨等あらゆる必要品の取扱をなし、特に肥料、飼料に於ては、部落單位の共同購入による、絶對利用を實現し、配給には、自動三輪車を購入し圓滑なる配給網の完璧を期して居ります

販賣部に於ては、我が組合の最も努力を要するところにして、主産物たる木炭、粟、米、大小豆、其の他の販賣をなして居りますが、過去に於ける、中間商人の不當利潤の搾取に悩まされつゝあつた組合員の理想が實現せる理であつて、全組合員一致の結束による統制のもとに、愈々擴張の必要に迫られております

利用部に於ては近年産米の増加による移出米の生産年々數百石に及ぶ關係上、動力糶摺機二台を購入し、共同作業場に設置利用せしむると共に各部落へ巡回作業を行ひ、舊來の土臼による糶摺を改め只管産米の改善に努めて居ります、尙將來は動力糶摺機の増設、及精米設備、製板設備も計畫中で近く實現せしめたいと思つて居ります

### 農會の活動に就て

副農會長 梅原惣九郎

本村經濟更生の根本は、耕地整理の施行によつて、開田し得ましたから、養蠶專業の農村から多角形的の經營をなすべく邁進して居るのであります



耕地の擴張をしましたとは云へ、尙一戸當りの面積は少きを以て農産物の品種の統一を計るとともに、之れが栽培法の研究をなし、自給肥料の増施によつて、金肥の購入を減少し、極力生産費の低減を計つて居ります。自給肥料増殖のためには、各戸に堆肥舎及灰小屋の設置を奨励し、現在殆んど全戸數に及んで居ります。重要農産物である、稻に於ては健苗の育成、多收及改善に努力しまして、十餘年前千數百石の購入村でありましたが、昭和八年産米より六百石内外の移出を見ることになりました。之れが爲め品質の向上、并多收を計るとともに、用水及勞力の分配を考慮しまして、水稻の早植を奨励し本年約二十町歩を植付ました。今後全耕地の三分の一以上即ち七十町歩になす計畫であります。裏作として、麥類、綠肥、菜種等の増殖を計り、現在二毛三作を奨励して居ります。之れ等の園藝作物即ち豌豆、トマト、フキ、及び林産物たる筍、栗、松茸、等による農産加工場を設置して、栽培の奨励と共に加工による、利益を得べく計畫中であります。亦廣大なる山野の一部其の他に茶を栽培して之れを自給し、其の他普通農事に亘り他の團體と共に協力一致して、自給自足を計つて居るのであります。

### 「共働の家」に就いて

下和知村青年學校  
教諭 三三 島 寮

「人の一生を支配する理想は青年時代に養はれる」と思慮をこゝに致します時、個人的にも國家的にも青年教育の重

要性は實に偉大であります。

本校は曩きに村長さん、校長さんから申されました如く本村の實情に鑑みまして、今を去る三年前、農民魂の養成と腕の教育（「何を知つて居るか」と云ふよりも「何を成すことが出来るか」）を目指して當時から申しますと學校教育としては全く型破りの特殊施設を致したのであります。

先づ普通農家を借り受けまして、限りある財源で、自作農家を標準としての住宅改善の範を示し、耕地は水田八〇アール桑園二〇アール蔬菜園一〇アール果樹園三〇アール計百四十アールと畜牛、山羊、鶏等家畜を飼ひ又養蠶或は農産加工等所謂多角形の農家經營を致し一ヶ年の粗生産額一千二百圓を上げて居ります。

之が經營は戸主格が小職であり家族として助手一名、それに生徒四名宛を年中一日一泊或は農閑期は二泊三日交替の宿泊訓練で女生徒も一週二回（火、金）は宿泊するのであります。

起床は四時半直ちに農装となり、朝草刈りに、掃除に、炊事にと朝の作業を各々分擔し、冷水摩擦後「働く心」を朗唱しつゝ毎日大國旗を掲揚し透拜し、ラヂオ體操後朝食を済まし、晝は流汗主義による作業に従事し夜は食後十分諸帳簿整理、今日の反省、明日の作業豫定協議決定し、一時間勉強、懇談娯樂に一時間を與へ生徒中不幸の者を祭る佛壇も設けてありますので修證義を唱へて普通十時の就床です。男子も炊事萬端を自らすることに依つて、お母さんの作つて下さつた食事に對して不足も云へないと申してゐます。

又本校は六尺禪を奨励致しまして所謂「禪をしめて作業に従事する」ことに致して居ますが、兼ねて作業は朗らかに明るい氣持ちで愉快に従事する事に努めてゐます。

又此の青年道場に第八章第三十一條からなる、青年學校信用購買販賣利用組合を生徒職員によつて設立し、信用は毎月三十錢以上の貯金、購買は學用品、日用品、販賣は、學校家庭に於ける生産物の販賣、利用方面では、荷車噴霧



器等の貸出し、理髪器を備へて各自散髪をして三錢位の利用費を納める等、以て産業組合の精神と實務の訓練を致して居ます。之れを要するに本村自力経済更生計畫を基準とし、ペスタロッヂの「作業なくんば智識なし」二宮先生の「天津日の恵み積み置く無盡藏で堀り出せ録で刈り取れ」の御遺訓をモットーと致しまして此の秋此の際眞に奮闘一番徹底直に斯界の振興を計らんとするものであります

### 私達の學校

#### ◎「共働の家」宿泊訓練信條

- 一、立派な役立つ人になり度
- 一、氣持の良い生活を致し度
- 一、快樂な流汗動勞に求め度

#### ◎家訓

二宮尊徳先生遺訓

天つ日の恵み積み置く無盡藏

鍬で堀り出せ鎌で刈り取れ

#### ◎日課表 (一例……四月)

五時三十分	起床	一	二	時	作業
-------	----	---	---	---	----

五時四十分	遙拜、體操	五	時	歸舍、雜事
五時五十分	冷水摩擦、朝の行事	六	時三十分	入浴
六時三十分	朝食	七	時	夕食
七時三十分	雜事	七	時三十分	帳簿整理
八時	交替、作業	八	時	自習
十二時	晝食	九	時	懇談、娛樂團樂
一時	研究	十	時	就寢

當番役割	會計係	一名	養育係	一名
	開場係	一名	炊事係	一名

#### ◎家庭的な學校

- 一、起 床——他の方より早く目を覺まし元氣よく起き上りませう
- 一、寢 具——お天氣のよい日には日光消毒を致ませう
- 一、遙 拜——東天に向ひ 天皇陛下に心からなる朝の御挨拶を申し上げます
- 一、體 操——自然の靈氣をうんと吸ひ込みます
- 一、冷水摩擦——心身を清め身體の健康を計りませう(三島教諭十七ヶ年續續)
- 一、美化作業——汚はしい所を美しくするほど麗はしい仕事はありません、進んでやりませう、總べて清潔、整頓に力めませう
- 一、食 事——感謝を捧げませう、活動の原動力です、よく嚼みます



- 一、研 究——面白く研究致しませう、お互は常に「ノート」と「ペンシル」は「ポケット」に入れておきませう
- 一、作 業——どんな作業でも自分のものにしてやりませう、面白くなりませう、立派に出来ませう、早く出来上ります（お互に仕事に追はれず、仕事を追ふて行きませう）
- 一、家 畜——家族として取り扱つてやりませう（私達の爲めの家畜です）
- 一、入 浴——お風呂の中で洗ひません、後の人に迷惑です（心の垢も序に洗ひ流しませう）
- 一、生活の整理——日誌を書きとめ、其の他農業簿記を整理しませう（一應今日全體を反省します）
- 一、娯 樂——一家の中から快活な笑聲の起るのは愉快です
- 一、就 寝——一日の生活を感謝し、長上に挨拶を致しませう、火の仕末、戸締等一應見ます  
安心して、お休みなさい

京都府船井郡下和知村實業補習學校

（共働の家創設記念、昭和八年四月一日）

### 養蠶實行組合の狀況に就て

副組合長 樋 口 甚 太 郎

本組合の設立は明治三十四年で其後半々進展して参りました當時の代表が郡是製糸株式會社を歴訪時の社長波多野翁に面接産繭の改善を圖るは最も急にして上級の改良が根本であると思ふ故に本村は他に率先して共同の上級改良施

設をなしたい計畫であると賛意を求めた處同社長曰く「そんな事が出来るか」と是非共行つて見ますと又社長夫れに對して夫れなれば少々助成の道も相談するとのことに本村は直に共同上級改良を始め産繭改善に相當なる成績を納めた結果現今にては本府は申迄もなく全國に亘つて上級改良に重きを置き相當なる産繭改善が行はれた譯で現在組合員數は三七五名、農戶數の七割に當り、總收繭年産一八、〇〇〇貫、収入金は拾萬圓内外でありまして本村に於ける金錢收入の主位にある關係上又山間にして氣候土質共に養蠶に適して居るのであります、故に古くより本業に多大の關心を持ち優良なる實績を収めまして昭和七年四月大日本蠶絲會より優良團體として表彰せられました

然るに昭和五年以來業界の不況によりまして深刻なる經濟難に直面致しまして組合發展の上に大いに支障を來す感があつたのであります、其の邊の事情は他地方に於ても同一であつた事と思ひますが、幸にも經濟更生の意氣旺んなる組合員は低繭價に尙堅實なる經營をなすことにより之に對應すべく一致努力しまして先づ農家經營の一部門として本業を組入れて副業の程度とし、蠶具、肥料等を自給生産として現金支出の減少を圖り、併せて土地の能率を高めて反當收穫量の増加と、繭質の改善に資し、更に飼育法の改善により蠶作の確保と努力の節約を圖り一般技術的改良によりまして繭質の優良化を策し、更に稚蠶共同桑園の設置により共同飼育を行ふ等、一路生産費低下と繭質の優良化に邁進したので其結果に於ては誠に見るべきものがありました、昭和七年に桑園總面積一萬アールにて收繭一萬九千貫であつたものが昨昭和九年迄に桑園二割餘の整理をなしたるも尙總收繭一萬八千貫餘を収めて桑園能率の向上を示してゐるのであります、又桑園の自給肥料に於ても蠶沙は全部堆肥となし、綠肥を栽培せる結果反當優に、千貫以上も施肥する様になり従つて金肥の支出高も半減したのであります、

桑園整理の跡作には米作が大部分で其他は大小豆蔬菜等で之の事業により農家經營が容易に改善し得られしことは寔に結構なことと存じます



産物の販賣は全部郡是製絲に特約取引をして居りますが何等の不安も抱いて居りません、只公平なる繭の検定が不可能でありますので第三者による検定所設立に就いては其實現を速かならむことを希望してゐる次第であります  
以上申上げた様な次第で皆相當に奮發努力して居りますので組合としても喜んでゐますが繭價の激變するのは遺憾なことであります

### 耕地整理事業に就て

聯合會副會長 原 田 榮 之 助

本村は耕地少く殊に田地少なき爲め米の不足年々一千五百餘石に上りたるも當時は養蠶が相當有利なりし爲め之に依り補て居りましたが、生活の不安を深く感じましたので村是として耕地擴張改良を奨励したると耕地整理法及開墾助成法の恩恵に浴しまして大正五年宇中坂原耕地整理組合設立を筆頭に十二字ある本村が十一組合の設立を見、工費八十五萬圓餘を授け開田百三十町歩開畑五十町歩を施行しましてこれ迄の不足米を補ひ猶移出米を生ずに至りました水源は概ね溜池によるのが多いので反當工費九百圓以上の箇所もありまして一見收支償はざる感がありますが大部分が土工で自家勞力に依つて働き増として出來得るので實際は有利となります、工費八十五萬圓の内補助金三十萬圓借入金二十五萬圓で残りは出資金であります、現在の負債十三萬圓でありまして反當十五六萬圓以上に及び年賦償還もありますが各組合は村農會産業組合の後援を得て増收に必死の努力をしたると消費節約とにより其差額を以て償還に當てる方針にして今日迄は遲滞なく完納して居りますが而し農産物下落の爲め低利及長期借替を要望して居ります又

多收穫を計るには用排水路の改良暗渠排水等設備の改善施設を要するもの多々ありて熱望して居りますが經費の關係上遂行すること出來ず甚だ遺憾であります

栗園五十町歩よりは六、七年後には年收一千五百石、三萬五千圓、山菜田<sup>町</sup>一度歩よりは年收一萬圓を得る計畫にて農家經濟の一助とする覺悟であります

### 本村の畜産に就いて

副組合長 樋 口 甚 太 郎

本村の畜産業は經濟更生上の首位を占める點から茲に本村畜牛組合を設け牛馬商人の手續を省く爲め各字に一名宛の最も牛に體驗もあり熱心家を委員とし本村に畜牛技手を置き牛の賣買交換は技手委員等に依り行ふ爲め牛馬商人の手續料を支出せぬやう畜者の利益となる施設をなして居る又農林産物低價に依る農家收入減の補填として生産牛に依り收入増加する爲め昭和七年より毎年五十頭づゝ五ヶ年間後には二百五十頭の基礎牝牛を但馬美方郡より共同購入をなし本年より五十頭餘の仔牛を他村に販賣し又厩肥と柴草を以て自給肥料増殖に依り收入を多からしめております  
昨年は破格的に百頭を購入せる爲め本府より日本一と稱する(時價千圓餘)の種牝牛を配布されて本村篤農家片山岩吉氏宅に飼育して居る。生産牛を放牧飼育する爲め農林省の設置奨励に基き放牧採草場を三ヶ所設置した、昭和十一年よりは積養の必要上、和知驛前に家畜市場を設置せんと準備中でありませす

又飼畜牛は殆んど郡家畜保険に加入せるが其れ以上本村有畜者中合の上救済金を毎年積立て患者又は死亡の場合は



見舞金として支出する方針を採つて居りますが、未だ生産用牝牛の共同購入及放牧採草地の設置をなすべき計画を樹てておりますから政府及本府よりは充分なる援助を願ひ度い次第で畜牛頭数増減表を参考として次に掲げます

最近三ヶ年畜牛頭数表

年 別	頭 数	金 額	備 考
昭和七年	三二三頭	三〇、〇七五円	牝牝 二七三頭
昭和八年	三四二	三三、六〇三	牝牝 一八四
昭和九年	三六九	四一、九七六	牝牝 一三三〇

### 林業に就て

助 役 梅 原 惣 九 郎

本村直營林の總面積は約一千二百町歩でありまして、全山林面積の三割を占め、杉七十萬本、檜三十萬本、計一百万本を植栽して居ります、其の撫育手入には、村民年二回の義務出夫を以てしましたが、近年漸く間伐の収入を見るに至りましたので、今後十五年後には、輪伐により村歳出の全部を充たし、残額は直營林の監理經營費に充つる方針

であります

本村は山麓栽培には天恵の土地でありますから、全く閑却された谷間を利用して階段式によつて増殖を計り、現在各部落で栽培中でありませ

又椎茸栽培にも適して居りますから、増殖を奨励して現在六部落に於て栽培中でありまして漸次全村に普及する計畫であります

本村の栗は丹波栗の本場であります、品種が雑多である爲め之れを五種に統一して産業組合に於て統制ある販賣をなしつつあります

私有林の撫育には各部落毎に、愛林日を設定して放任に流れ易き私有林の開発に努めて居るのであります、木炭は又本村の主要物産なるを以て炭質の向上を計り増産奨励の意味から夏山を廢し薪炭林の改増に努めて居ます

### 在郷軍人活動狀況報告

在郷軍人分會長 森 周 一 郎

本村が府下に於て更生指定村に選ばれて以來着々更生計劃を樹て其の實行に進まれますに當りまして、我等在郷軍人會に於きましても平時郷にあつて軍人の本分を全ふするは此時なりと考へまして昭和八年二月役員會を開催し次の四項目に亘る必行事項を議決し爾來今日迄之が實行に不斷の努力を拂ひつゝあるのであります  
即ち、



第一、村經濟更生計畫遂行の援助後援

第二、諸會合に於ける時間勵行

第三、共同的作業の實施

第四、貯金の増額及勵行

之を各項に就いて方法の大様を申上ますならば

第一、村の計劃遂行の援助方法

各班に一人乃至三人の委員を設け村の經濟更生計劃に基き部落委員と協力し之が實行に當つては班内會員を指導  
督勵し會員を實行への第一線に立たしめ之が遂行に努力しつゝあります故に現在に於きまして委員關係者及壯年  
研農會員等の大部が軍人會員であると言ふてもよいのであります

第二、諸會合に於ける時間勵行

從來より喧しく叫ばれて居たのでありますすが之が實行に未だ餘裕のある事を痛感しまして我等軍人會が率先し時  
間の勵行を嚴守する事に致しました故從來午後迄行ひました會合は之を特別の事情のない限りは午前中に終る事  
と致しましたので一回に約三時間の時間を節することが出来たのであります、尙之れを本村の自治團體關係及各  
種團體に普及徹底を慫慂致しましたので各種團體共之が勵行を嚴守されるやうになつた事を喜んで居ります、之  
と同時に朝起き會を組織し會員が相互に喇叭及び寺の鐘を以て一般の早起を督勵して居ります

第三、共同的作業の實施

本會員の會費の負擔額は年に三圓を要して居りますが之は元より各家庭から醸出しなければならぬのでありま  
すが之を何とか自力に依つて支辨することを決議しまして村長様と相談して村有林の杉檜の枝打、若しくは村道

の砂利運搬等をなし之れに依つて得た金を以て負擔金及び貯金に充當して居ります

尙其他の作業に就いては各班に於て軍人會が主體となり各種共同的の作業を實施して居ります

第四、貯金の増額及び勵行

從來一ヶ月一人十錢以上となつて居りましたのを、三十錢に増額し尙各班に一名の係を設け之れに依つて集金を  
なし貯金しつゝあります之まで一ヶ年約百圓餘であつたものが倍加致しまして年二百四十圓程となり現在約五千  
三百圓に上つて居ります

## 青年團事業に就て

團長 樋口 種治郎

現代の青年團は、その團員の精神的修養をなすと共に、産業方面に向つて進出する使命が附與されてゐると考へる  
のであります。そして、それが常にその青年團の構成されてゐる町村に立脚したものでなければならぬと信じ、村  
經濟更生計畫に呼應して左の事業を行つております

一、本村々是として耕地整理事業が行はれ開田百三十町歩を得ましたので、この事業をして有終の美をおさめしむ  
るべく、稲苗代改良品評會並に増收品評會を開催し、米作に對する研究熱に拍車を加え、健苗育成、收穫増進に  
累進的進歩を見、本村の如き山間部にて良く反當四石以上の最高收穫を見たのであります

二、農家の現金支出を少なからしむる目的の下に毎年農閑期に、竹細工講習會を行ひ、團員はもとより一般村民に

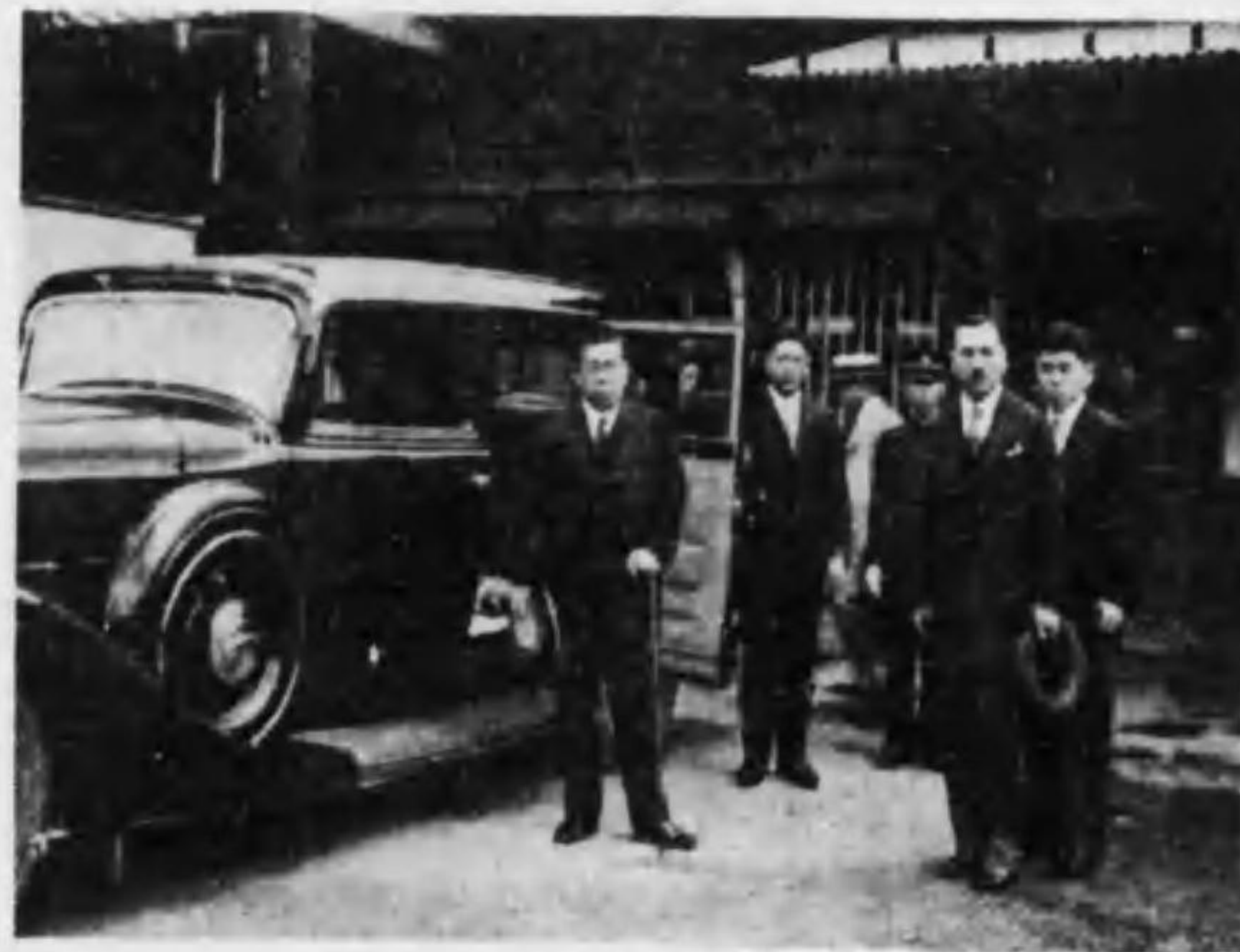


受講せしめ、養蠶用養箱桑入籠、草刈籠、台所用竹製品等 殆んど其の製法を會得せる結果、今日では全部自己製品を以て足り購入するもの皆無の状態であります

三、現下の農村を更生せしむるものは一に産業組合の力であり、産業組合の發展擴充は、かゝつて農村の繁榮を招來するものであると信じ、我々男女青年團結して産業組合を側面より援助し其の機能を遺憾なく發揮せしめんが爲、産業組合青年聯盟を結成し盟友自身、産業組合の本質を究めると共に、進んで組合員並に村民全體に對し、産業組合精神を徹底せしめ、産業組合主義經濟組織の確立を期すべく講習會、講演會を開催し、他方購買品の共同購入斡旋、販賣品の統制促進等の實踐的活動を続けております

四、精神修養方面では、青年學校に設置された、共働の家へ毎月一回宛交代に集合し、専任教員指導の下に農民道の修得と、百姓魂の養成に努めております、尙勤儉貯蓄思想涵養の爲、團員一人對月額二十錢以上の貯金を勵行し其の額三千一百餘圓となつております

五、その他 特に農村には娯樂的施設缺乏せるを以て本團に於て郷土色豊かな田園劇を創作し、餘暇をさいて團員之れを練習し、各種村民會合の席に上演することとしております。これは娯樂費の節減となり、村民の心の慰め



和知驛前の農林大臣閣下

となり、田園人としての人情味の豊かさを更生せしむる上に効果尠なからざるものがあり、多大の好評を得ております

以上本團事業の概畧であります

## 壯年研農會事業に就て

會長 石原 治郎 兵衛

以下本會の目的並に事業につきまして極簡単に申上げ度いと思ひます、さきに本村が經濟更生の指定村となるや我々青壯年有志は農村の非常時局に鑑み且つは本村の經濟更生計劃の遂行上其の別働隊として活動すべく奮起せねばならぬ事を痛感し即ち一昨年四月我々有志相謀つて本會を設立致したのであります、現在會員は百四十八名でありまして年齢四十歳迄の最も農事に熱心なる者を以つて組織してゐるのであります、其の主なる事業を挙げますれば第一に農家經濟簿の記帳であります、これは申す迄もなく各農家が更生計劃の基礎となり又之が遂行上に於ける羅針盤となるものであります、會員全部之が記帳を勵行してゐるのであります

次に本會は本村の産業經濟の發展に寄與すべく依米及び木炭の品評會を開催してゐるのであります。依米品評會は耕地整理事業有終の美をなすべく産米の改良及販賣の統制を目的とし又木炭品評會は益々製炭の技術を練磨して市場に於ける現在の聲價維持向上を圖るを以つて目的とするものであります

此の外年四回以上相互研究會を開催し或は先進地の視察などを行つてゐるのであります



最後に本會は其の實質に於きましては所謂壯年團と等しきものでありまして今後會員は益々自重して村の中堅農家として經濟更生の模範を示し併せて本村經濟更生の一日も遅かならん事に協力一致邁進すべく信念を有するものであります

### 婦人團の活動に就て

婦人團長 原 澤 奈 尾 子

本村が經濟更生指定村となりまして、學村一致の實をあげられるために、本婦人團と致しましては、「更生の實は先づ臺所から」を標語と致しまして、以下申上ます事業を、團員一致の步調で實行致して居ります次第で御座います

一家の經濟の根底を致します、收入を先づ主婦が知悉することであり、依つて收支の均衡を計る爲め、團員全部家計簿の記帳をなし、月、年別、に統計を作り冗費を省くことに考慮致して居ります、本村經濟の支柱をなして居ります、養蠶より生じます、屑繭の整理につきましては團員一同申合せを致しまして、之れが整理に努め防寒用加工品等を作つて居ります

自家用食料品と致しまして、味噌、醬油、漬物、かき餅、かち栗、の製造を致し、經費の節約を計つて居ります、茲數年前までは本村の醬油は殆んど購入致して居りましたが、現在では其の七割は私達の手に依つて造つて居ります、其の他糸瓜水の製造等、婦人で御座いますので大きなことは致しかねますが、さゝやかながら、積極、消極の二方面から、本村更生の趣旨に合流致して居る次第で御座います

殊に昨年富民協會から表彰を受けられるや、之れを記念として一日一錢日掛貯金を勵行致しまして現在一千四百四十圓餘りに達し、毎日一握りの白米の貯蓄は之れを共同販賣に致しまして一千〇七十圓十錢の現在を見て居ります

尙冬期間の繩紉により電燈料の補給等各員一致いたしましたして、只管更生の内助に努力致して居ります次第で御座います

### 處女會活動狀況に就いて

會長 十 倉 コ ト メ

私等經濟更生農村の女性として従来より行はれて居た處の身分不相應な冠婚葬祭の改善を痛感し特に華美になり易い婚禮の改善に努め其際に要する衣類其の他の調度を三階級に分ち其の標準の範圍内に於て主として實用品を調度し餘力あるものは有價證券の類を携帯する等の申合により幾多の反對に悩まされつゝも現今では競つてこれが實行を見る様になりました

尙本團の事業として本村秋季大運動會當日の模擬店によつて得た純益又は裁縫奉仕等の收入にて本團の費用に充て又如何に質素な生活を送つて居る農村民とは言へ日常使用するものゝ内には更生の餘地ある物の多く捨てられるを痛感し、法を變へ品を變へ特に廢物利用に工夫をこらし、期を見て展覽會を催す等出來得る限り幾多の方法によつて更生を圖り、今後尙一層更生農村の主旨にかなふべく努力致し度い考へて御座います



## 農業經營に就いて

篤農家 片山岩吉

二八



會場に於ける村長挨拶

私は以前から農業に努力致して居りましたが恰度昭和七年本村は經濟更生の指定村となるや村長様初め指導員の皆様の熱心なる指導に依りまして個人としての更生計劃を樹立し其の實行に努力して來ました

水稻に於ては合理的施肥の研究をなし多收計畫を樹て、居ります勞力分配の法として早植を勵行し毎年三月下旬に種を下し五月下旬に田植を行ひ其の面積は耕作反別の約三分の一に對して實行して居ます

自給肥料を目的と致しまして牛三頭を飼育し養鶏として五十羽を飼養し産卵を以て來客及自家食料に供し堆肥舍灰小屋を設け専ら自給肥料の増産に努力をして居ります。又蔬菜の栽培をなし自家用外は共同出荷をしてゐます

其他副業として養鯉果樹菓細工など行ひ家内勞力の分配に意を拂つてゐます

昭和七年十一月二十日より農家經濟簿を正確に記帳して居ります  
が今年二月十一日紀元節の佳辰をトし本府知事閣下より、

高松宮殿下御沙汰書並に金一封を拜受するの光榮に浴し村に於きましても祝賀會を開いて頂き身にあまる榮譽を擔ひ感激に堪へません

此の御恩に報る爲め更生計劃の實行に益々努力する決心であります

## 京日出新聞

(六月十一日登載)

### 勤儉力行の村 下和知の經濟事情

あす・山崎農相視察

山崎農相は十二日府下の經濟更生情勢視察のため特に府下船井郡下和知村を訪れるが、その經濟更生發展狀態を知るため村長片山潔氏に付て詳細に調べてみると

同村の面積は四方里、戸數七百八十四、人口三千四百七農家は六百三戸で残りは商家及び勞働者である、山林面積三千七百七十二町、耕地面積三百六十四町、人口の割合に耕地面積が少く食糧不足であるため耕地整理を村是として爾來工を進め百三十町歩の開墾をなし、昭和八年には剩餘米五、六百石の移出をなすに至るの發展振りを示した  
また名物丹波栗の増産のため林野を開拓して、今後兩三年も經てば千五百石の移出を行ひ得るといふ狀態である、  
また部落有林野の開拓をこれも大正五年より行ひ百萬本の杉、檜を植ゑ、毎年一戸より二人宛の出夫を行ひ、林野開

二九



拓利用のために林道を開鑿、十五年後には植産林の伐採によつて村費を補ふといふ理想郷を現出するに至るといふわけである

同村の財政状態は昭和七年三月須知、國部兩銀行の閉鎖によつて四十萬圓の貯金を失ふに至り一時は暗黒の状態に陥つたが、同年經濟更生指定町村に指定せられ、村民和衷協同、奮起の結果、昭和七年には負債三十一萬圓一戸當り三百九十二圓であつたが、昭和九年には十九萬三千圓に減少した

その他村民の精神作興のために巡回講演を行ひ「佛心會」といふ會を作るなど物心兩面に村民一丸となつて理想郷建設のために努めてゐる

大阪 京都 版

(六月十三日登載)

### 『共働の家』に感心

揮毫も西下後最初

丹波路視察の山崎農相

農山漁村の經濟更生狀況視察のため西下中の山崎農相は井野農林省蠶糸局長、小平經濟更生部長等を伴ひ鈴木知事鈴木府經濟部長などの案内で十二日午前八時五分京都驛發列車で昨年富民協會から表彰された船井郡下和知村に向ひ車窓から見える寅天塚などに關する説明に耳を傾け初夏の綠に燃える保津川の景を賞しつゝ、同九時三十八分和知驛着片山下和知村長をはじめ村會議員各種團體代表等の出迎へを受けて下和知小學校に到着、片山村長、出野校長、片山産

業組合長、梅原農會副會長、原田耕地整理組合聯合副會長、樋口畜産組合副會長、樋口青年團長、原澤婦人團長、篤農家片山岩吉氏からそれぞれ關係事項について報告を聞き同村經濟更生計畫の一つである「共働の家」を視察農村の中堅人物を養成する共同の家にひどく感心、それより自動車で綾部町に向ひ城丹蠶業學校府立蠶業試驗場を視察城丹蠶業學校生徒に訓示を與へ同二時二分福知山驛發列車で兵庫縣へ向つた、府下の視察を終つた農相は次の通り語る

今度の視察は得るところが多かつた下和知村はさすがに昨年富民協會から表彰されただけに經濟更生の實がよくあがつてゐる、村役場、學校各種の組合、各種の團體が土依の四本柱のようにガツチリ組合つてゐるがあれは非常によい、百姓精神の鼓吹につとめてゐるのもよいその他の町村もあゝいふ風に經濟更生の實を擧げてもらひたいものである、その他の施設を視察し府の經濟更生委員とも懇談し府の希望も十分に聞いたから歸つてから考慮したいと思ふ

大阪 京都 版

(六月十三日登載)

### 村の代表者から

經濟更生の體驗を聽く

さのふ山崎農相

經濟更生優良村下和知村へ

地方經濟更生狀況視察のため西下中の山崎農相は小平經濟更生部長、井野蠶絲局長ら同伴、鈴木京都府知事、鈴木



同経済部長、菅澤農林、樺島耕地兩課長らを案内役として十二日午前八時五分京都驛發山陰線で府下の経済更生優良

村船井郡下和知村に赴き、同村小學校講堂において村の代表者達と會合して親しく経済更生の體験を聞いた

話をしたのは村長片山潔、校長出野傳治、産業組合長片山勘藏農會副會長梅原惣九郎、耕地整理副會長原田榮之助、畜産副組合長樋口甚太郎、青年團長樋口種治郎、婦人團長原澤奈尾子、篤農家片山岩吉の諸氏で

これに對し山崎農相は

「本村の経済更生の良成績なることはかねて報告に接してゐたが今諸君のお話を聞き苦心のほども窺はれ一層同感を深くした、國の大本は農業にあり、その経済更生のためには政府や府縣も努力するが、農村自身の自覺と努力が何よりも肝腎であるから將來ますます努力を望む」

と挨拶した、同村へ國務大臣が赴いたのは最初のことなので村民一同これを肝銘し経済更生の記念日とすることになつた、片山村長の報告の要点は左の通り

下和知村の面積四万里、戸數七百八十四、人口三千四百七、内農家六百三戸、大正五年から府の指導で耕地開墾に着手し今日まで百三十町歩の開田をなし、そのころ年々一千五百石の不足米があつたのが一昨年から五、六百石移



下和知村の面積四万里、戸數七百八十四、人口三千四百七、内農家六百三戸、大正五年から府の指導で耕地開墾に着手し今日まで百三十町歩の開田をなし、そのころ年々一千五百石の不足米があつたのが一昨年から五、六百石移

出できるやうになつた、また丹波栗増殖に努め五十町歩を開墾植栽して七年後には一千五百石の粟を他村に移出する見込みである、その他杉檜百萬本を植えて十五年後からは輪伐による利益で村費を償ふことや村民の勤勉努力により負債の軽減して來たこと等、ひいては六月十二日を更生記念日として理想郷下和知村建設のために一致協力すといふのである

なほ山崎農相はそれより同村共働の家などを視察し何鹿郡綾部町に向ひ城丹蠶業、蠶業試験、郡是製絲工場等を視察し二時二分福知山發兵庫縣へ向つた

## 昭和十年六月十七日大毎京都版登載

### 經濟 更生 村

山崎農相はわざわざ大阪から引かへして、この間富民協會から優良經濟更生村として表彰された船井郡下和知村を視察した

その車中、片山同村長から保利祕書官を通じて、同村小學校校長はじめ各組合、その他團體の代表者から農相に、せめて二分間づゝでも更生狀況を報告せしめたいからと申出た



隨行の井野窟糸局長や小平經濟更生部長等「そんな顔見世のようなことはよしたがよい」と一笑に附したもんだから片山村長、少なからずテレた

ところが、肝心の村へ着いてみると、待ちまうけてゐた出野校長初め原澤婦人團長まで各自懸命になつて實情を報告したので山崎農相、その眞摯な態度と簡單にして要領を得た話振りにすつかり感激し、傍の小平更生部長等を頼みていつた

「ねえ君、各種の計畫も結構だが眞剣なこの精神が經濟更生の實績をあげしめる基だね」と。さきに「顔見世はよせ」と阻んだ手合が、こんどはテレた

昭和十年七月一日印刷  
昭和十年七月五日發行

〔非賣品〕

發行所 京都府船井郡下和知村役場

發行人 片山 潔

船井郡下和知村

印刷人 中西勝太郎

京都市下立賣通小川東入

印刷所 中西印刷合名會社  
京都市下立賣通小川東入



終

